

令和7年6月定例記者会見要旨

開催時間 令和7年6月25日（水）午前10時30分 302会議室

（総務部長）

只今より6月の市長の定例記者会見を始めます。

よろしくお願いします。それでは早速ですが市長お願いします。

（市長）どうも皆さんいつもありがとうございます。

梅雨に入りまして、蒸し暑い日になってまいりましたし、夏に向かっていろいろなイベントも入ってまいります。日頃から諏訪湖記者クラブの皆様には、様々なイベントを取材等々で取り上げていただきありがとうございます。7月のスケジュールについてお知らせをしてまいります。お手元に配布させていただきました資料をお願いします。

○令和7年度 諏訪湖DEウォーク

申込受付期間 7月1日（火）から7月31日（木）まで

実施期間 9月1日（月）から10月31日（金）まで

この期間に諏訪湖周辺のインフラが整備され、歩く環境も整い、市民の皆さんの歩く習慣も30年前に比べてかなり身についてきており、市の事業としての一定の役割は果たしたと考えられます。期間を定めての「諏訪湖DEウォーク」は、今年度をもって終了します。今後は、個人で諏訪湖周辺等のウォーキングを楽しんでもらいながら運動習慣の定着を図っていただきたいと思います。

○TOYOTA SOCIAL FES 2025

7月5日（土）午前8時00分 すわっこランド

市では独自の取組として、平成21年度から諏訪湖や諏訪湖へ流入する河川に大量に繁茂する水草ヒシの手作業による除去を実施しています。平成25年度からは、信濃毎日新聞社との共催事業 AQUA SOCIAL FES!!（現TOYOTA SOCIAL FES!!）を実施し、諏訪地域以外からも多くのボランティアに参加いただきヒシの除去作業を行っています。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、関係者のみで除去作業を行ってきましたが、令和4年度は3年ぶりに TOYOTA SOCIAL FES !!として多くのボランティアの方と一緒にヒシ取り作業を実施しました。令和7年度も7月5日（土）に、前年と同規模のヒシ取り作業を実施する予定です。

○諏訪湖祭湖上花火大会 有料桟敷席券の一般抽選販売

受付期間 6月23日（月）から7月6日（日）まで

一般販売 7月11日（金）抽選により販売

諏訪湖サマーナイト花火

夜風の中で音楽に合わせた500発の華麗な花火

7月25日（金）から8月24日（日）まで

毎晩20時30分から（約10分間）

○第58回 藤原咲平先生をしのぶ会

7月26日（土）午前11時00分から午前11時30分 諏訪市霧ヶ峰強清水 藤原咲平博士記念碑前
昭和42年に「藤原咲平博士をしのぶ会」第1回が開催され、その後「藤原咲平先生をしのぶ

会」に名称が変わり今回58回を迎えます。お天気博士の愛称で国民に親しまれ、また日本のグライダーの父として知られる先生は、気象学をはじめ地球物理学等各界に偉大な業績を数多く残されました。先生の功績をたたえ、昭和36年に霧ヶ峰に記念碑が設立され、昭和42年より毎年7月に「藤原咲平先生をしのぶ会」が行われています。また、諏訪市図書館には、先生の功績を世に残すため「藤原咲平記念室」が開設されています。

諏訪市役所 オープンカンパニー・インターンシップ

8月6日（水）午後1時00分 諏訪市役所 5階 大会議室

内容 将来、諏訪市役所で働くことを考えている方へ、半日程度で市役所の実務や採用試験、働き方などを説明します。

対象 将来、諏訪市職員採用試験の受験を考えている平成2年4月2日以降に生まれた方

定員 20名（事前予約制、先着順）

申込み 令和7年7月1日（火）～令和7年7月15日（火）

（総務部長）

こちらからの説明は以上になります。

○花火大会について

（記者）花火大会についてですが今年、戦後80周年、80年の節目の年ということで、そもそも復興を目的に始められた花火ということで市長の思いをお話いただければありがたいと思います。

（市長）今年は戦後80年という節目の年でもあります。諏訪湖花火大会の77回すべて開会の前に戦没者の皆様やいろいろなことで思いを残して逝かれた皆さんに対する黙祷をして始まります。

これは恒例にしています。そしてその思いからいち早く戦後から復興してみんなで元気を出してもらいたいというお盆の15日ということもありますが、この花火大会が大きく発展してくれたのもそうした原点を大事にしてきた思いがあったからだと思います。コロナの頃からですが、諏訪大社様からも思いを込めた一番最初のスタートに先駆けて白菊の尺玉一発の提供をいただいています。いろんな思いを込めた花火になろうかと思いますが、戦後80年という節目でもあり、改めて平和の尊さ、そして、この戦後からの先代の皆様のご努力ご尽力、ご活躍、そうしたものに感謝をすること、そして77回ですので良い大会にしたいと思っています。また、毎年少しずつですがスパイスを加えて趣向を凝らしながら皆様に連続して来ていただいても何か新しい発見があったり、今年も良かったなと思ってもらえるような工夫をしておりますので乞うご期待であります。よろしくお願いいたします。

○参議院選挙について

（記者）20日に参議院選挙の投開票日を迎えます。3連休の中日になるということで低投票率が懸念されていますが諏訪市の選挙管理委員会で何か投票率アップのための施策がありましたら、また若者の投票率を上げるために何か秘策があれば、教えてください。

（市長）すわっチャオを期日前投票の会場に新たに加えました。期日前投票による投票率は年々上がってきています。しかしながら、期日前投票の数字が対前年で上がっていくことと、最後の投票率が連動しているかということそうではありません。選挙というのは、様々な要素が

あって投票率に影響してくるかと思いますが、そうは言いましても民主主義の原点でありますので多くの皆様に投票していただくことに今までどおり様々な努力を加えていきたいと思っています。

○諏訪湖DEウォークについて

（記者）先ほどの諏訪湖DEウォークですが、本年度が最終年度というお話でしたが、市の主催するウォーキング大会としては、今年度が最後で、来年度は、そういう大会を実施しないということでしょうか。

（市長）この事業を30年続けてきました。30年前に比べ、現在、運動習慣や健康への意識が非常に高まっています。私も、就任して10年間、事業を継続しました。その間コロナもあって、諏訪湖一周ウォークから諏訪湖DEウォークという形で、1日限定みんなで歩くということから、自由な時間を作ってという形へ少しずつ変化をさせました。そうした中で、先ほど申し上げましたように、ウォーキングだとか、あと健康志向の活動というのは随分世の中に浸透してきたと思っておりますので、この諏訪湖DEウォークは、ここで一つ区切りを迎えるということになります。そのほかに当市環境課や県の共催のスマートフォンのアプリなどによるものなどがございますので、是非ご活用ください。

（記者）今年度最終になるというところで民間であるとか、健康だけじゃない脱炭素の取り組みでもウォーキングを取り入れいろいろ広がってきたので、ここで一区切りしたいということでしょうか。

（市長）
そういうことでよろしくお願いします。

○諏訪湖スタジアムにおける盗難について

（記者）諏訪湖スタジアムの盗難についてですが、当市の施設が狙われているってことを、警戒もあったかと思いますが、実際に被害にあってということで、率直な受け止めと既に隣接のスポーツ公園とともに防犯対策を施したと思いますが、今後の防犯意識に関してお考えがあれば、お聞かせください。

（市長）
やはり公的な施設民間の施設どちらについても、人の物を盗んでいくこと、またそれを売って収益を上げるというその行為そのものについては、遺憾に思います。そして、被害を受けた市の施設は、子どもたちの利用や、プロ野球などこれから始まろうとするタイミングでの事件でございまして、本当に残念な思いです。事後の対策をしっかりすべき立場ですので、早速、警察に被害届を出すと同時に調査等を始めまして、新しいケーブルを入荷いたしましたので、今現在、修復復旧作業を進めております。7月当初からは使えるようにしたいという思いで準備を進めておりますが正式な発表はまた改めて担当課からいたしたいと思います。今月中、少年野球のナイター利用は、叶わなくなりましたので皆様にお詫びを申し上げているところで

す。
また7月に入りますと信濃グランセローズの試合もありますので何とかそこには、子どもたちの招待デーにもなっていますこれも視野に入れて全力で復旧作業を進めています。また、防犯対策につきましては、侵入に対する対策はできていましたが、マンホールそれぞれに個別対応

ということまでは、できていませんでしたので今後はこうした危険性を回避するために対策を
してまいる予定です。あとフォローの件につきましては副市長何かあったらお願いします。

（副市長）防犯カメラの設置等についても検討しているところです。諏訪湖スタジアムのみならず
昨日の全国ニュースの中にも、全国でいくつか同様の球場の照明の銅線が盗難されるとい
ったニュースもあります。そういった一連の動きの中の一つかなという想像はしていますが、
大変遺憾に思っているところです。

○公共施設等の広域化について

（記者）市議会の一般質問で広域での公共施設の共有の話がありました。タイミング的に合併
が最終的に破綻して20年になります。こういった少子化、あるいは高齢化、今後財政も非常に
厳しい中で、今、各市町村いろんな公共施設の建物の老朽化が一気に進んでいます。後藤副市
長からも広域的な利用がされる施設については圏域における効率的な運用を考える必要につい
ては十分理解をしているということで答弁がありました。市長の基本的な考え方をお聞かせ
いただきたいです。

（市長）以前の議会でもアイデアとして私も発言したことがあります。一つ一つの5万人前後
の市が三つ、そして町村があり、それぞれがすべてフルコースの施設を用意する時代ではない
と認識をしています。そして、諏訪市役所から岡谷市役所、茅野市役所に行くのに、概ね車だ
と、15分から20分、25分もあれば行けるという、そうした環境にあります。そういう中で文化
センターもそうですがカノラホールとか、大きな施設あるいはスポーツ施設など、この圏域
は、相互に一体的に皆さんが交流しながら利活用しているという現状があります。それを考え
ますとみんなで共有して効率よく使えるものは、そのような方向にシフトしていく時期はもう
随分前から始まっています。行政としても位置付けをしっかりと作っていくということが大事な
手続きだと思って投げかけてきました。そうした中で今現在、広域連合の副長会議に他にもた
くさんそうしたテーマがありますので、全てできるわけではありませんが、できるところか
ら、順次着手していくというのが筋ではないかと思っています。皆さんのご賛同をいただきた
いと思っています。

（記者）スケート施設ですと茅野市と岡谷市とでそれぞれ抱えていて、今議論が進んでいると
思いますが、茅野市長は今まで真剣に話し合う場がなかったのではないかと、いわゆる合併後
そのままになっていたのではないかというお話もされたりして、いわゆる広域的な議論とい
うのが必要ではないかということのかねてから言われていますが、なかなか他の市町村のこ
とです。おっしゃるのは難しいかもしれませんが広域連合長の立場でも金子市長のリーダーシ
ップを期待する声もあると思いますので、その辺いかがでしょうか。

（市長）利用者の利便に関しては、いち早く共有で利用できるようなそうしたことを整えてい
くということは、スピード感を持ってできるかと思います。施設の設置や維持管理、メンテナ
ンスを含め今の原則は、それぞれの市町村が、施設を持ち維持管理している現状にありまし
て、6市町村それぞれの手続きを経てどんな風にできるのかということは、考えなければなら
ないと思います。そして、スケート場だけではありませんので、例えば諏訪市ですと公認プー
ルこの6市町村では唯一の50メートルプールは諏訪市が管理しています。他にもそうした施設
がそれぞれにありますので、一度にすべてとはいかないと思いますから、皆さんの声を聞きな
がら、どのようにこの広域的に提供できるのかという課題については、知恵を絞りながら真摯

に対応していくべき課題だと思っています。

（総務部長）以上をもちまして6月の定例記者会見を終了します。